

2年4組 西仁連川源流での防災活動報告

1. 活動した地域について

西仁連川は、結城市の北西から南西を流れ、栃木県小山市を源流に、坂東市の菅生沼まで流れています。

2. 西仁連川にゴミがあるために発生しうる問題

- ・生物がゴミを食べてしまう。
- ・ゴミによって川が汚染されてしまう。
- ・ゴミがたまると川の流れをせき止めてしまう。

→結果)川が氾濫する。

農作物に被害が出る。



そうならないために…

- ゴミを捨てない。
- ゴミ拾いをする。

3. 活動内容

- (1) 西仁連川に関する各種調査
- (2) ゴミ拾い

4. 実際に行った活動について

- (1) 西仁連川に関する各種調査

①水質調査

ペットボトルをバケツがわりに川の水をくみ、水質調査キットで川の汚れ具合を調べました。



②生物・植物調査

川周辺の生物や植物について調べました。

- (2) ゴミ拾い

燃えるゴミ、ビン、カン、ペットボトルなどのゴミを種類別に分け、集めていきました。

5. 活動の結果

①水質の調査

西仁連川源流から小山運動公園までの区間6か所

での検査をしたところ、COD 濃度が2できれいな水だとわかりました。(2日後、三和高付近の西仁連川で調査したところ COD 濃度は8で汚れた水だとわかりました。)

②生物の調査

川でシジミを取って作業していた方もいました。上流部は、川の水がきれいだということがわかりました。



③ゴミの調査

燃えるゴミは、お菓子の袋・マスク・カップ麺の容器・畑の袋などが落ちていました。プラスチックゴミでは、ペットボトルが多かったです。

6. ゴミを減らすために(2年4組の提案)

ゴミを減らすための個人から世界全体でできることを考えてみました。クラスで挙がった意見です。

(個人でできること)

ポイ捨てをしない。/ ボランティア活動に積極的に参加する。

(学校単位でできること)

定期的にゴミ拾い活動を行う。/ ポイ捨て禁止ポスターを作る。

(地域社会でできること)

看板を道中にたてる。/ ボランティアグループをチラシや広告などで募集する。

(日本社会全体でできること)

全国水質検査をする。/ ポイ捨てされそうな場所に防犯カメラを設置する。

(世界でできること)

ゴミが出ないような製品を作る。/ 水質汚濁を問題提起する。

7. 最後に

ゴミがポイ捨てされることによって川的环境や生き物に大きな影響をもたらします。自然を悪化させないために、皆さんもボランティア活動に参加してみませんか。